

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》○吉田晋 大須田祐亮 大内みふか 中村宅雄 佐藤一成 鈴木伸弥 岩部達也

【概 要】

評価は、効果的な理学療法を実施するうえできわめて重要な理学療法プロセスに位置づけられる。

本科目では、評価の意義や目的、その一連の進め方（情報収集、記録、結果の統合と解釈、再評価まで）について学習する。

また、理学療法における基本的検査・測定技術である反射・病的反射、感覚・知覚検査、協調性検査、脳神経検査、姿勢反射・バランス・平衡機能検査、筋緊張・運動麻痺検査、姿勢観察・分析、動作観察・分析、歩行観察・分析について講義および演習を通して習得する。

【学習目標】

理学療法評価を実施するために、各種検査法を理解し、実施することができる。

1. 理学療法における評価の意義と目的を説明できる。
2. スタンダードプリコーションの目的を説明し、実施できる。
3. 各検査項目の目的を説明し、基本的手技を実施できる。
4. 姿勢観察・分析、動作観察・分析、歩行観察・分析の目的を説明し、基本的手技を実施できる。
5. 対象者の評価結果を記録できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1) 2	オリエンテーション スタンダードプリコーション バイタルチェック	本授業の概要、学習目標・内容、スケジュール、学習方法の説明を行う。 スタンダードプリコーション・バイタルチェックの目的を説明できる。	全教員
3) 4	姿勢観察・分析	静的姿勢観察・分析の目的を説明し、基本的手技を実施できる。	全教員
5) 6	感覚検査・知覚検査 脳神経検査	感覚検査、知覚検査の目的を説明し、基本的手技を実施できる。 脳神経検査の目的を説明し、基本的手技を実施できる。	全教員
7) 8	反射検査 病的反射検査 筋緊張検査	表在反射、深部反射、病的反射検査の目的を説明し、基本的手技を実施できる。 筋緊張検査の目的を説明し、基本的手技を実施できる。	全教員
9) 10	運動麻痺検査	運動麻痺検査の目的を説明し、基本的手技を実施できる。	全教員
11) 12	協調性検査	協調性検査の目的を説明し、基本的手技を実施できる。	全教員
13) 16	バランス検査 姿勢反射検査 平衡機能検査	バランス検査の目的を説明し、基本的手技を実施できる。 姿勢反射検査、平衡機能検査の目的を説明し、基本的手技を実施できる。	全教員
17) 18	総合演習①	各検査に関する総合演習を行う。	全教員
19) 20	総合演習②	各検査に関する総合演習を行う。 (実技テスト有り)	全教員

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
21 }	総合演習③	各検査に関する総合演習の振り返りを行う。	全教員
22			
23 }	量的歩行分析	量的歩行分析の目的を説明し、実施できる。	全教員
24			
25 }	動作観察・分析	動作観察・分析の目的を説明し、実施できる。	全教員
26			
27 }	質的歩行分析	質的歩行分析の目的を説明し、実施できる。	全教員
28			
29 }	評価の記録	対象者の評価結果の記録方法を説明し、実施できる。	全教員
30			

【評価方法】

提出課題25%
筆記試験25%
実技試験50%

試験に関するフィードバックの方法

- ・定期試験および追再試験実施後、問合わせがあった際には模範解答を開示する。

【備考】

教科書：松澤正 他 著 「理学療法評価学」 金原出版 2016年
上野正博 他 編著 「リハビリテーションにおける評価 Ver.3」 医歯薬出版 2016年
才藤栄一 監修 「PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定 編」 金原出版 2015年
月城慶一 他 訳「観察による歩行分析」 医学書院 2005年

参考書：畠中泰彦 編 「PT・OTビジュアルテキスト 姿勢・動作・歩行分析」 羊土社 2015年

その他：実習で使用するため、打診器を購入すること。
「運動麻痺検査」までを前期に実施する。
「脳神経検査、バランス検査」以降を後期に実施する。

【学習の準備】

指定された教科書を用いて、次回授業範囲を必ず予習すること（80分）。
復習は、プリント、講義メモ並びに教科書、参考図書を活用して実技練習も含め学習を深めること（80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP3）理学療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

【実務経験】

吉田晋 大須田祐亮 大内みふか 中村宅雄 佐藤一成 鈴木伸弥 岩部達也(理学療法士)

【実務経験を活かした教育内容】

病院での臨床業務経験に基き講義、演習を進める